

Annex 1 : Flyer

Date & Time: July 30th 2016, 10:00 – 16:45

*Venue open 9:30

Venue: Higashi-Senda Innovative Research Center M401, Hiroshima University

*Admission free. 100 seats available.

Language: English / Japanese (with simultaneous interpretation)

Hosted by: Institute for Peace Science, Hiroshima University

*There is a pay parking lot. However, because the parkingspaces are limited, please use public transport to the venue.

【日 時】 2016年7月30日(土)

10:00–16:45 ※9:30開場

【場 所】 広島大学

東千田未来創生センターM401

※入場無料(先着100名)

【言 語】 英語 / 日本語(同時通訳付)

【主 催】 広島大学平和科学研究センター

* 東千田キャンパスの駐車場は有料です。また、駐車できる台数に限りがありますので、公共交通機関でお越し下さい。

Seat availability is limited so please apply by e-mail or phone if you are interested in attending. But, You can join in the symposium without reservation, if the seats are left. 参加ご希望の方は、下記内容をFAX(送信表不要)、またはメール(件名を「シンポ申込み:氏名」とする)にて事前にお申し込み下さい。(↓Fax用) 定員を超えた場合、お断りさせて頂くことがあります。また、席に余裕がある場合は、当日参加も受け付けます。

Name ご氏名	Please check which part you will attend. 参加ご希望の部にレを付けてください。 <input type="checkbox"/> Session 1 / I 部 <input type="checkbox"/> Keynote speech / <u>基調講演</u> <input type="checkbox"/> Session 2 / II 部	< 申し込み先/Contact Address > 広島大学平和科学研究センター 〒 730-0053 広島市中区東千田町1-1-89 Institute for Peace Science, Hiroshima University Higashisenda-machi 1-1-89, Naka-ku, Hiroshima 730-0053 TEL: 082-542-6975 / FAX: 082-245-0585 E-mail: heiwa@hiroshima-u.ac.jp URL: http://home.hiroshima-u.ac.jp/heiwa/
Company ご所属		
Tel or E-mail		

Challenges for Peacebuilding in Asia アジアにおける平和構築の課題

10:00 ~ 10:15 Opening Remarks/開会の言葉



Mitsuo Ochi
越智光夫
広島大学長

1952年愛媛県今治市生まれ。広島大学医学部卒業後、整形外科に入局し、ヨーロッパ留学などを経て、2007~11年広島大学病院院長、2008~11年理事、2011~12年理事・副学長、2012~15年学長兼付補佐を歴任。2015年4月より広島大学長。2010年に文部科学大臣表彰「科学技術賞」、2014年に産学者連携功労者表彰「厚生労働大臣賞」を受賞。医学博士。

10:15 ~ 12:15 Session 1: Experiences in Peacebuilding in Asia 第一部：アジアにおける平和構築の経験



Miho Kumamoto
隈元美鶴子
UNITAR広島事務所
所長



Daisaku Higashi
東大作
上智大学
グローバル教育
センター准教授



Mari Katayangai
片柳真理
広島大学大学院
国際協力研究科
准教授



Tatsuo Yamane
山根達郎
広島大学大学院
国際協力研究科
准教授

1982年米国ウエストバージニア大学心理学科卒業。1992~95年九州電力企画部国際課係担当として勤務し、数多くの海外研修に取り組む。その後、米国コロンビア大学修士課程にて開発経済学を学ぶ。2001年から国連開発計画国際委員会に勤務。ペトナム事務所、ニューヨーク本部などを経てモロア太平洋事務所にて防災、復興、環境、気候変動担当の事務所代表代理を歴める。2012年より国連開発計画国インドネシア事務所にてシニアアドバイザーとして勤務。2014年より現職。

1983~2004年、NHK報道局ディレクター。NHKスペシャル「なぜ戦争をしたのか～ペトナム戦争～南との対話」放送文化基金賞・報道危機回避への苦闘～頃田・米朝の記者でハイラク報與、国連の吉岡川世郎記者懇念賞等を全国制作。2009~10年、カブールにおいて、国連アフガンスタン支援ミッションの和解・再統合チームリーダーを務める。2012年3月ブリティッシュコロンビア大学から博士号取得。2012~14年国連日本政府代表部公使参事官、2015~16年東京大学准教授を経て、2016年4月より現職。

1997年8月～1998年12月、国連東スラブニア暫定統治機構人権担当官、民主担当官。2001年に英國ウォーリック大学より法律博士号取得。2001～2003年、在スヌニアヘルジエゴビナ日本大使専門調査官。2004年4月～2005年10月、在スヌニアヘルジエゴビナ上級代理委員会政治顧問。JICA研究所主任研究員を経て2014年4月に広島大学准教授。2015年4月より現職。看護系「Human Rights Functions of United Nations Peacekeeping Operations (Martinus Nijhoff Publishers, 2002)」、平和建替、平和構築、紛争予防、新規解決の分野で人権の視点から研究を続けている。

1970年生まれ。専門は国際安全保障(平和・安全保障研究、特に軍力競争や平和構築)。2005年に大阪大学大学院国際公共政策研究科(ORIPI)修士号(国際公共政策)を取得。広島大学大学院国際協力研究科修了。その後、大阪大学未来戦略機構特任講師などを経て現職。その他、国連日本政府代表部専門調査官、待定非利活動家 Association of Medical Doctors in Asia(AMDA)「スリランカ医保健と平和プロジェクト現地統括、ヘルシンキ大学医療研究員などを務めた。

12:15 ~ 13:30 Lunch break/お昼休憩

13:30 ~ 14:10 Keynote speech/ 基調講演



Udagawa
Satoru
宇田川悟
作家

1947年東京都生まれ。早稲田大学政治経済学部卒。作家。パリに長く暮らしフランスの社会・文化・食文化に魅かれて。フランス政府農事功労章シュヴァリエを受賞。ブルゴーニュワインの騎士団、シャンパンニコ騎士団、コマンドリー・ド・ボルドー、フランスチーズ鑑評騎士の会などに叙任。看護師「食はフランスに在り(小学校ライブラー)、『ソリの頭頬は馬鹿だった』(吉本裕明著)食を語ると共に『ヨーロッパワインの魔力(ちくま文庫)』、『フランス古典の食人たち』(新星社)、『欧洲・ヨーロッパの興亡』(リトル出版)、『フランスはやっぱりおいしい!』(TBCブリタニア)、『フランスワイン紀行』(ヨーロッパ不思議物語)著者の進路の述懐』(著者自己紹介と共に刊行新星社)、『VANストリーフー石津洋介とアイビーの時代』(英美社新書)、『歴史の魔女一死ぬまえに食べておきたいものは?』(文藝新書)、『フレンチの進化たち』(幻冬舎文庫)、『フランスワインにとっておきの最新事情』(講談社+α文庫)、『フランス料理は進化する』(文藝新書)、『絶対ハンブルン門』(東京出版社)、『フランス興亡史一日本の西洋料理を語る』(角川ホビーマガジン)など多数、近著に『料理人の突破力一石津揚昇・片岡慶二・小室圭博が語る仕事と生きかた』(新星社)、『ホテルオークラ松江料理長小野正吉一フランス料理の奥と叶ばれた男』(岩田書店)、『看護師が作る食卓』(近藤一近藤ヨーロッパ食文化研究会)、『ラクレット・フランス料理と食文化』(共に平凡社)、『父親はなぜ必要なのか?』(小学館)、2014年にノーベル文学賞を受賞したパトリック・モディヤン著『カトリス』(ジャン=ジャック・サンペー訳/講談社)など。

14:10 ~ 14:30 Coffee break/休憩

14:30 ~ 16:30 Session 2: Challenges and Prospects for Peacebuilding in Asia 第二部：アジアにおける平和構築の課題と展望



Lt. Gen. Daniel Leaf
Director,
Daniel K. Inouye
Asia-Pacific
Center for Security Studies



Anthony Bubalo
Lowy Institute for
International Policy
Deputy Director
and Research Director



Mari Yamashita
山下真理
国連平和構築支援
事務局次長



Tsuneo Nishida
西田恒夫
広島大学平和科学研究
センター長

ダニエル・インウェイ・アジア太平洋安全保障研究所所長。1974年ウィスコンシン大学マディソン校卒業(政治学)、同校の米空軍ROTCプログラム修了。米陸軍指揮官候補生(軍事学)。米太平洋軍(PACOM)副司令を最後に33年間におよぶ軍務を経て、2008年に退役。2009~11年には、米空軍准将而西全般委員も務めた。ノースロップ・グラマン・インフォーションシステムズ社副社長を経て、2012年より現職。

オーストラリアのシンクタンクであるローウィ国際政策研究所所長。研究担当のディレクターとして、同研究所の研究成果のマネジメントを行っている。また、イスラム主義、民主主義、テロ、エネルギー・安全保障を含む、中東の底力問題に關する研究を全国、推進している。The Australian, The Age, The Sydney Morning Herald, The Financial Times, Harriet, 朝日新聞などの内外の新聞・メディアや、The American Interest, Foreign Policyなどの有力論壇誌に寄稿している。

東京都出身。1988年上智大学法学院国際法科卒。1990年米国フロリダ州立大学院修了後、国連事務局情報収集調査室の政務官補佐として派遣に加わる。1993年より国連事務局政務司にて週刊支援、アフリカ、東南アジア担当政務官などを歴任。アルメニア、クロアチア、ボルネなど環境派遣を含め、国連でのキャリアは23年間に及ぶ。2010年より東京国連広報センター所長。2012年より国連本部政務局アジア太平洋部幹事長。2015年より現職。

1970年に東京大学法学院卒業後、外務省入省。1999~2001年ロシア・アンゲルス日本国総領事、2001~02年経済協力局長、2002~03年に経済外交政策局長、2005~07年に外務審議官(東洋)、2007~10年に特命全権大使カナダ駐箇事務官(民間)、2010~11年に特命全権大使カナダ駐箇事務官(民間)、2011~12年に特命全権大使なごみを兼任。2014年4月より広島大学平和科学研究センター長(同時任教授)。

16:30 ~ 16:45 Closing Remarks/まとめ・閉会の言葉



MC/司会
Asami Ogura
小倉亜砂美
広島大学平和科学研究センター助教

2008年広島大学大学院生物資源科学研究科博士課程修了、博士(生物学)。2008~10年広島大学総合博物館客員研究員、2010~14年広島大学国際センター研究員を経て、2014年4月より現職。専門は、環境生物学、環境保全(ESD、フェアトレード)を含む。

This symposium is partly subsidized by Hiroshima University under the "Program for Promoting the Enhancement of Research Universities." 本シンポジウムは、広島大学研究力強化促進事業からの補助を受けています。

